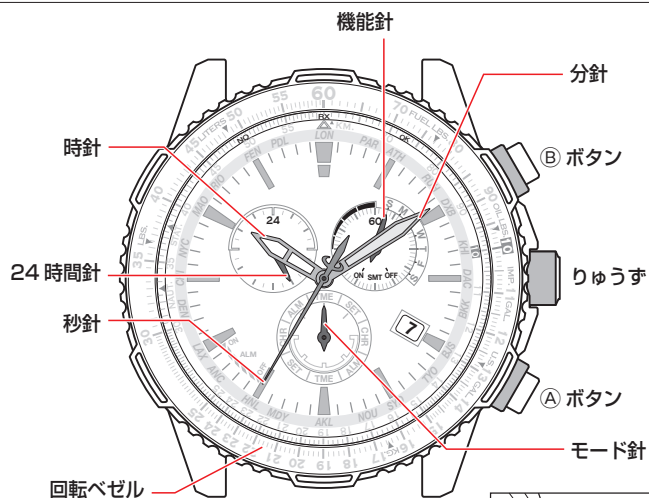


- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。 <https://citizen.jp/support/guide/html/e660/e660.html>

## 各部の名称

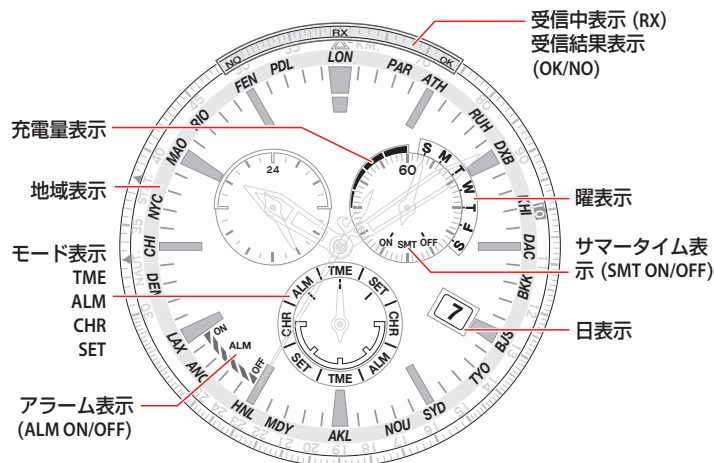
### 針とボタン



- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- りゅうずの引き出し位置は2段階あります。



### 表示



## 充電量を確認する

充電量表示で現在のおおよその充電量を確認できます。

- りゅうずの位置を **1** にする  
秒針が30秒を指して停止します。
- りゅうずを回して、モード針が [TME] を指すようにする
- りゅうずの位置を **0** にする
- A ボタンを押す  
機能針が充電量を表示し、秒針が前回の受信結果を表示します。

レベル	3	2	1	0
表示				
持続時間	約10~7ヵ月	約7~1ヵ月	約1ヵ月~3日	3日以下
意味	十分充電されています。 安心してお使いいただけるレベルです。	充電状態は良好です。	やや充電量が不足しています。	充電警告が始まるレベルです。 <b>すぐに充電してください。</b>

- A ボタンを押して、終了する  
秒針が、秒表示に戻ります。  
・ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で戻ります。

## 前回の電波受信の結果を確認する

- りゅうずの位置を **1** にする  
秒針が30秒を指して停止します。
- りゅうずを回して、モード針が [TME] を指すようにする
- りゅうずの位置を **0** にする
- A ボタンを押す  
機能針が充電量を表示し、秒針が前回の受信結果を表示します。

OK		受信に成功しました。
NO		受信に失敗しました。

- A ボタンを押して、終了する  
秒針が、秒表示に戻ります。  
・ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で戻ります。

## 現在のワールドタイム設定を確認する

- 1 りゅうずの位置を **1** にする  
秒針が30秒を指して停止します。
- 2 りゅうずを回して、モード針が **[TME]** を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を **0** にする
- 4 **ⓐ** ボタンを押す  
秒針が現在の地域設定を表示し、機能針がサマータイム設定を表示します。
- 5 **ⓑ** ボタンを押して、終了する  
通常表示に戻ります。  
・ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で戻ります。

## ワールドタイムを設定する

この時計は、UTC(協定世界時)基準の24の時差を設定することで、世界の各地域の時刻を表示させることができます。

- 1 りゅうずの位置を **1** にする
- 2 りゅうずを回して、モード針が **[TME]** を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を **2** にする  
秒針が現在の地域設定を表示し、機能針がサマータイム設定を表示します。
- 4 りゅうずを回して、地域を選ぶ  
地域を選ぶと、時計/分針が動き始めます。  
・針の動きが止まっているときに**ⓐ**ボタンを押すと、サマータイム設定が切り替わります。
- 5 りゅうずの位置を **0** にして、終了する

### 時差と代表地域について

- ・時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。
- ・一覧表にない地域で時計を使用する場合は、同じ時差の地域を設定してください。

時差	秒針	表記	代表地域	受信局
0	0秒	LON	ロンドン*	ドイツ局
+1	3秒	PAR	パリ*	
+2	5秒	ATH	アテネ*	
+3	8秒	RUH	リヤド	◆ドイツ局
+4	10秒	DXB	ドバイ	
+5	13秒	KHI	カラチ	
+6	15秒	DAC	ダッカ	◆中国局
+7	17秒	BKK	バンコク	
+8	20秒	BJS	北京/香港	
+9	22秒	TYO	東京	日本局
+10	25秒	SYD	シドニー	◆日本局
+11	27秒	NOU	ヌーメア	
+12	30秒	AKL	オークランド	
-11	33秒	MDY	ミッドウェイ諸島	◆アメリカ局
-10	35秒	HNL	ホノルル	
-9	38秒	ANC	アンカレジ**	
-8	40秒	LAX	ロサンゼルス**	アメリカ局
-7	43秒	DEN	デンバー**	
-6	45秒	CHI	シカゴ**	
-5	47秒	NYC	ニューヨーク**	◆アメリカ局
-4	50秒	MAO	マナウス	
-3	52秒	RIO	リオデジャネイロ	
-2	55秒	FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島	◆ドイツ局
-1	57秒	PDL	アゾレス諸島*	

- ・表中の時差は、各地域の標準時とUTCの時差です。
- ・表中の「受信局」に◆マークがついている地域は、受信範囲外のため実際には受信できません。
- ・\*/\*\*の地域では、サマータイム設定の自動切り替えが、それぞれ連動しています。詳しくは、「サマータイムを設定する」をご覧ください。

## 電波を手動で受信する(強制受信)

- ・電波受信には、2~15分程度の時間がかかります。



- 1 りゅうずの位置を **1** にする  
秒針が30秒を指して停止します。
- 2 りゅうずを回して、モード針が **[TME]** を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を **0** にする
- 4 秒針が **[RX]** を指すまで、2秒間以上 **Ⓐ** ボタンを押し続ける  
秒針が前回の受信結果を表示した後、**[RX]** を指し、受信が始まります。
- 5 電波受信しやすい環境に時計を置く  
・秒針が **[RX]** を指している間は、できるだけ時計を動かさないようにします。  
・秒針が **[RX]** を指している間に、**Ⓐ** ボタンを2秒間以上押し続けると、受信が中断され、通常表示に戻ります。

受信が終わると、受信結果(OK/NO)が表示され、通常表示に戻ります。

## サマータイムを設定する

### サマータイム設定を確認する

- 1 りゅうずの位置を **1** にする  
秒針が30秒を指して停止します。
- 2 りゅうずを回して、モード針が **[TME]** を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を **0** にする
- 4 **ⓐ** ボタンを押す  
秒針が現在の地域設定を表示し、機能針がサマータイム設定を表示します。

SMT ON		表示時刻は、サマータイムです。
SMT OFF		表示時刻は、標準時刻です。

- 5 **ⓑ** ボタンを押して、終了する  
通常表示に戻ります。  
・ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で戻ります。

### サマータイム設定を変更する

- 1 りゅうずの位置を **1** にする
- 2 りゅうずを回して、モード針が **[TME]** を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を **2** にする  
秒針が現在の地域設定を表示し、機能針がサマータイム設定を表示します。
- 4 りゅうずを回して、サマータイム設定を変更したい地域を選ぶ  
地域設定が切り替わり、時計/分針が動き始めます。また、地域設定ごとのサマータイム設定が表示されます。
- 5 針の動きが止まっているときに、**ⓐ** ボタンを押す

SMT ON	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サマータイムが表示されます。</li> <li>・サマータイム設定の自動切り替えがオンになります。サマータイム信号の受信に応じて、自動でサマータイム設定が切り替わります。</li> </ul>
SMT OFF	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準時刻が表示されます。</li> <li>・サマータイム設定の自動切り替えがオフになります。電波を受信しても、サマータイムは表示されません。</li> </ul>

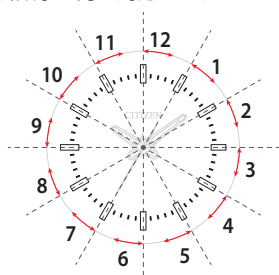
- ・**ⓐ** ボタンを押すごとに、選んでいる地域のサマータイム設定が切り替わります。
  - ・次の地域では、いずれかの地域でサマータイム信号を受信すると、それぞれの局でサマータイム設定の自動切り替えが連動します。  
アメリカ局: ANC, LAX, DEN, CHI, NYC  
ドイツ局: LON, PAR, ATH, PDL  
ただし、自動切り替えをオフにしている地域については、連動しません。
- 6 手順 4、5 をくり返し、他の地域のサマータイム設定を行う
  - 7 りゅうずの位置を **0** にして、終了する



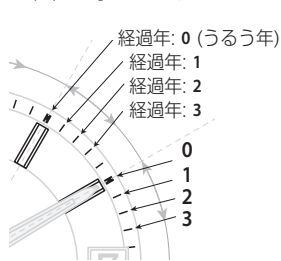
## 時刻とカレンダーを手動で合わせる

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回して、モード針が [SET] を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を ② にする  
秒針が0秒を指して停止します。
- 4 ④ ボタンを押す  
時針と分針が少し動き、時刻/カレンダー合わせができるようになります。
- 5 ④ ボタンをくり返し押して、合わせる針/表示を選ぶ
  - ・ ④ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切り替わります。  
時/分/24時間 → 日 → 年/月 → 曜 → (始めに戻る)
  - ・ 針/表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。
- 6 りゅうずを回して、針/表示を合わせる
  - ・ 時針/分針/24時間針は運動します。
  - ・ 午前/午後は、24時間針で確認します。
  - ・ 日表示は、機能針が5回転すると切り替わります。
  - ・ りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
  - ・ 年と月は、秒針で表示されます。

月は、下図に示した範囲で示されます。  
各数字が月に対応します。



年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。

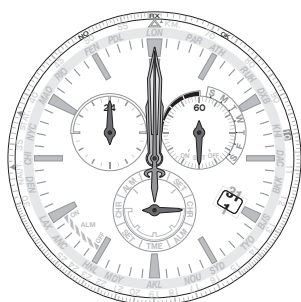


・ うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい解説があります。

- 7 手順5と6をくり返す
- 8 時報に合わせて、りゅうずの位置を ③ にする
- 9 モードを [TME] にして、終了する

## 基準位置を確認する

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回して、モード針が [CHR] を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を ② にする  
針/表示が、現在の基準位置に移動し停止します。
- 4 基準位置を確認する  
正しい基準位置は次のとおりです。
  - ・ 時針/分針/秒針: 0時00分0秒
  - ・ 24時間針: 24
  - ・ 日表示: 「31」と「1」の間
  - ・ 機能表示: 「30」(真下)



基準位置がずれているときは、次の「基準位置を修正する」の手順3に進みます。

- 5 りゅうずの位置を ③ にする
- 6 モードを [TME] にして、終了する

## 基準位置を修正する

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回して、モード針が [CHR] を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を ② にする
- 4 ④ ボタンを押す  
機能針が少し動きます。
- 5 ④ ボタンをくり返し押して、修正する針/表示を選ぶ
  - ・ ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。  
機能針/日表示 → 時針/分針/24時間針 → 秒針 → (始めに戻る)
  - ・ 針が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。
  - ・ 時針/分針/秒針/24時間針が、修正対象のときは、機能針は「60」(真上)を指します。
- 6 りゅうずを回して、針/表示を修正する
  - ・ 時針/分針/24時間針は運動します。
  - ・ 日表示は、機能針が5回転すると切り替わります。
  - ・ りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 7 手順5と6をくり返す
- 8 りゅうずの位置を ③ にする
- 9 モードを [TME] にして、終了する

## オールリセットする

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回して、モード針が [CHR] を指すようにする
- 3 りゅうずの位置を ② にする  
各針/表示が現在の基準位置に動きます。  
・ 針と表示の動きが止まったら、次に進みます。
- 4 ④ ボタンと ⑤ ボタンを同時に押す  
ボタンから手を離すと、アラームが鳴り、オールリセットが行われます。

オールリセット後の各設定

オールリセット後の各設定	
時刻/カレンダー	うるう年の1月1日曜日午前0時0分
ワールドタイム	LON
サマータイム	全ての地域でSMT OFF
アラーム設定	ALM OFF
アラーム時刻	午前0時0分
受信結果表示	NO

## オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置の修正、時刻/カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。

